

徳島県議会
自由民主党

料金別納
郵便

配達地域指定

石井町・神山町に
お住いの皆さまへ

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組めます!

徳島県議会
自由民主党

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

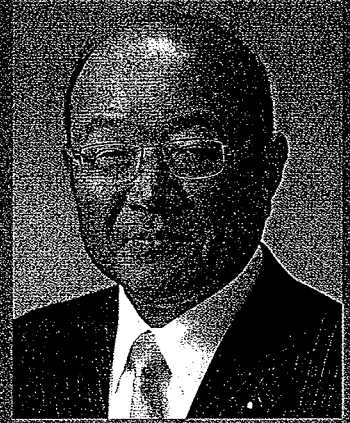
徳島県議会 自由民主党 名西選挙区

副議長

いわまる まさふみ

岩丸正史

当選回数/3回



熱い心でチャレンジ!

徳島県議会副議長の岩丸正史(いわまる まさふみ)です。

私は、2007年4月皆様からの暖かいご支持、ご支援のもと、県議会議員として当選させていただきました。それまでの会社勤務やその後の神山町教育長としての経験も踏まえながら、徳島県や名西郡のさらなる発展を推し進めるため懸命に努力を重ねてまいりました。

今、日本は、経済状況も回復の兆しがあるとはいえ、なかなかそれが実感できないところです。その上、近年の長引く経済の低迷とこれに起因する財政状況に加え、少子高齢化、そし

て本格的な人口減少社会へと突入しています。また、経済社会のグローバル化が拡大するなか、時代は予想を超える速さで推移し、社会構造は多様な変化を見せています。さらには、最近多発する豪雨、大型台風、地震などの災害から、住民の生命や財産を守るための防災・減災対策についても大変急がれるところです。

今まさに大きな変化の中にあつて、これまでの価値観や仕組みを根底から見直し、県議会が一丸となり、さらには県民の皆様と共に力を合わせて新たな時代を切り開いていかなければなりません。

- ・地域の将来を担う、子どもたちの教育環境の整備や、地域の力を再生するリーダーの養成などの『ひとづくり』
- ・人々が安全で安心して暮らすことのできる生活基盤の実現や、伝統文化、芸術、スポーツなどの振興・発展の『(筋)みちづくり』
- ・地域ならではの産業振興により地方経済を活性化させ、人々の生活の糧を生み出す『ものづくり』

私は、この3本の柱を中心に据え今後とも懸命に活動します。

今こそ徳島のそして名西郡の将来如何にあるべきか、地方創生に求められる『「ひと・みち・もの」づくり』について、時代の潮流とともに将来展望を描きつつ、既成概念にとらわれることなく、柔軟な発想でもって取り組まなければならないと思っています。

刻々と変わる社会情勢を的確に判断し、若さと、熱い心、そして行動力で将来の徳島県、名西郡の姿をしっかりと見据えながらチャレンジしてまいります。



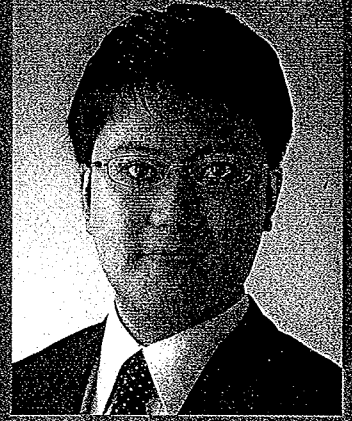
県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

徳島県議会 自由民主党

名西選挙区

やまし くにお
山西国朗

当選回数/1回



徳島県議会議員の山西国朗(やまし くにお)です。

皆様方のお力添えのもと、県議会にお送りいただき、はや4年目を迎えました。現在、文教厚生委員長を拝命し、おもに教育や医療・介護の諸課題に取り組んでおります。一方、地元の課題も山積しており、特に以下の課題については集中的に取り組んで参りました。

今後とも、皆様方のお声をいただきながら、課題解決のため全身全霊で頑張る参りますので、厳しくご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

飯尾川・渡内川の河川整備 前向きな答弁を引き出す

先般の9月議会の本会議で取り上げ、飯尾川の河川改修について事業の遅れを指摘。県土整備部長から「スピード感を持って取り組む」と、これまでにない踏み込んだ答弁を引き出すとともに、渡内川についても毎年の予算計上を念頭に、部長から「引き続き適切な維持管理を行う」との約束を取り付けました。

高校学区制の見直しを実現

現在の中学2年生の入試から新制度へ

現在の普通科高校の学区制度は不公平ではないか。これまで、制度の見直しを求めて参りましたところ、6月議会ですいに県教育委員会は見直しを表明。現在の中学2年生の入試から新制度へ移行することとなりました。

水道事業の広域化へ 道筋つける

現在、市町村が運営する水道事業について、持続可能で安定した水道事業を実現するためには費用を抑える手段として「広域化を目指すべき」と主張。この度、県は初めて水道ビジョン(計画)を策定し、水道事業の広域化に向けた取り組みを具体的に盛り込みました。特に、石井町は県内トップクラスの水道料金であることから、今後の安定的運営を行うための道筋をつけることができました。

徳島県議会
自由民主党

料金別納
郵便

配達地域指定

那賀町に
お住いの皆さまへ

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組めます!

徳島県議会
自由民主党

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

徳島県議会 自由民主党

那賀選挙区

副会長

すぎもと なおき

杉本直樹

当選回数 / 6回



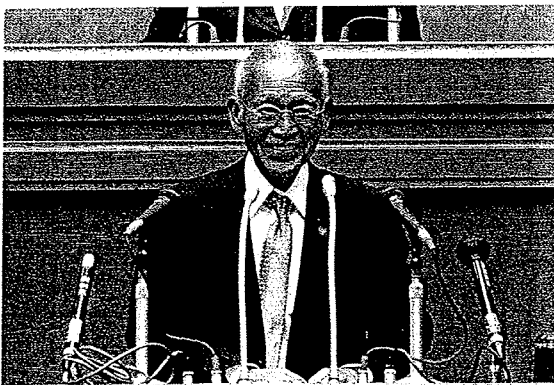
徳島県議会議員の杉本直樹(すぎもと なおき)です。

私はこれまで、県議会において、県産材の販路拡大、林業人材の育成、森林整備の重要性など、徳島県の林業振興について様々な提言を行うとともに、財源確保についても、県をはじめ地元那賀町や高知県、林業関係者らと力を合わせ、国に対してねばり強く要望活動を行ってまいりました。

その成果の一つであります「森林環境税(仮称)」についてご報告いたします。

これまで、県議会で国に強く創設を求めてきた「森林環境税(仮称)・森林環境譲与税(仮称)」の導入が昨年12月の「平成30年度税制改正の大綱」において明示されました。

振り返ってみますと地球温暖化や水資源の確保、過疎高齢化による厳しい中山間地の現状から「水源税」の議論が活発化し、本県でも県民意識調査が実施されたのは平成13年のことでした。県議会でも様々な意見も踏まえ慎重に検討を進め、高知県を皮切りに県民税として徴収する県が増えるなか、本県では、より公平でロットの大きい「国税」としての税制を知事とともに国に要望してまいりました。



平成28年度には、全国37府県が住民税の超過課税制度を導入する状況の中、粘り強く「森林環境税(仮称)」の導入を提案してきた我々にとって新税の創設はまさに大願成就、「県議会林業木材業振興議員連盟」はもとより関係各位の運動の成果と胸をなで下ろしているところであります。

「森林環境税(仮称)」については、平成36年度から導入されることとなっておりますが、これに先立ち「森林環境譲与税(仮称)」が平成31年度から地方固有財源として、市町村が行う間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用として譲与されます。また、市町村の森林整備に対する県の支援の費用にも充てられることとなっております。

具体的な譲与基準については、森林環境譲与税(仮称)の10分の9に相当する額は、市町村に対し、当該額の10分の5の額を私有林人工林面積で、10分の2の額を林業就業者数で、10分の3の額を人口で按分して譲与されます。また、10分の1に相当する額が市町村と同様の基準で都道府県に対し按分して譲与されます。

なお、創設時の経過措置として、平成33年度までは200億円、平成35年度までは300億円が借入金として全国に譲与されます。

試算によれば、31年度は県全体で3億9千5百万円、平成45年度以降は11億8千万円程度の譲与額の配分が予定されます。

一方、新税創設の趣旨に則り、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を推進するため森林の経営管理を市

町村や意欲と能力のある民間事業者が持続的に取り組むことを内容とする「森林経営管理法」が成立しました。

この「新たな森林管理制度」では、森林所有者が管理できなくなった森林を市町村が預かり、経営に適した森林は意欲と能力のある林業経営者に委ねることとし、経営に適さない森林は市町村自ら経営管理を行うこととなりました。

今後、意欲と能力のある林業経営者のための条件整備として、路網整備や高性能林業機械の導入促進、主伐再造林の一貫システムの普及が必要ですが、主体となる市町村の林業専門職員が少ないことから制度運営面に不安が残ります。

そこで、市町村や地域の現状を県に伝え、「新たな森林管理制度」の円滑なスタートを図るため、「とくしま森林経営管理協議会」を設置し検討を進めていただくこととなりました。

この協議会は、県、市町村、関係団体で構成し、関係者の意見や提案を聴き、地域の実情を踏まえ、市町村が主体となる森林整備の仕組みを構築するとされています。

これまで、県議会は林業の成長産業化を図るため、県に対し人材育成の強化と県産材の利用促進、さらには販路拡大といった要望や提案を行い、林業アカデミーの開講、木材利用創造センターを核とするフォレストサイエンスゾーンの構築、台湾、韓国をはじめとする輸出戦略など積極的な取り組みをいただいています。

今後も、「森林環境税(仮称)」を活用した制度の円滑なスタートや儲かる林業の実現に向け、国の動向や県の施策について注意深く見守るとともに地域の声をしっかりと行政に届けるよう努めてまいります。

徳島県議会
自由民主党

料金別納
郵便

配達地域指定

海部郡に
お住いの皆さまへ

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組めます!

徳島県議会
自由民主党

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

徳島県議会 自由民主党

海部選挙区

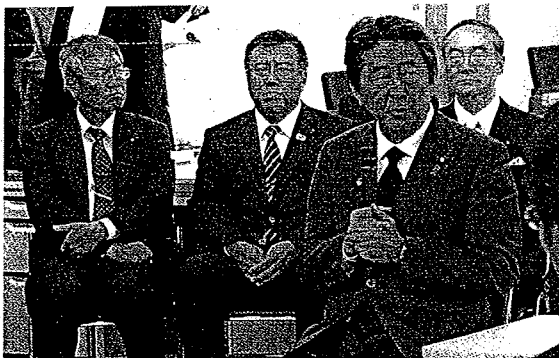
議長

しげきよ よしゆき

重清佳之

当選回数/5回

全国都道府県議会議長会理事
徳島県議会畜産振興議員連盟会長
徳島県議会スポーツ振興議員連盟会長



安倍晋三内閣総理大臣の県庁等視察
(H30.9.1)



菅義偉官房長官への四国横断自動車道及び
阿南安芸自動車道の早期整備に向けた緊急提言
(H30.7.17)



東京2020 オリンピック・パラリンピックフラッグ
ツアーフラッグ歓迎イベント(H30.6.28)

徳島県議会議長の重清佳之(しげきよ よしゆき)です。

私は、平成14年の県議初当選以来、「海部郡に県政の光を当てる」との決意を胸に、過疎対策と基盤整備をライフワークとして、「正々堂々」「真っ向勝負」の姿勢で、海部郡の活性化に全力で取り組んできました。

さらに、海部郡が抱える課題や過疎地域の住民の思いが、県全体で立ち向かうべきテーマにほかならないとの確たる信念を持って、県政に対して様々な提言を行ってきたところです。

そして、本年は、地元海部郡の皆様方のこれまでのご支援、また同僚議員のお力添えのもと、栄えある第92代徳島県議会議長に就任させていただきました。

県議会議長の仕事は想像していた以上に大変ですが、それだけにやりがいを感じる日々の連続であり、議長としての職責をしっかりと果たすべく、元気よく懸命に働いています。

今、そしてこれから将来に向かって、県南地域選出の県議である私が取り組むべきこと、それは何にもまして、高速交通体系の構築、「海部道路」の整備促進です。

高速道路や高規格道路は、農林水産業や畜産業、製造業等の産業活動を支え、地域住民の暮らしを豊かにする社会基盤であるとともに、大規模災害発生時には、「命の道」としての役割を発揮します。

私は、県議会の関係議員や地元の皆さんと力を合わせて、高速道路の南伸、「海部道路」の一日も早い事業着手に向けて、あらん限りの力を振り絞っていく覚悟です。

また、海部郡をはじめとする過疎地域においては、人口減少が急ピッチで進行する中で、地域住民の暮らしをいかに守り、どのようにその質を高めていくかが問われています。

私たちは今こそ、「秩序」「勤勉」「団結」「助け合い」といった、日本人の良さ・特長を再認識した上で、日本の過疎地域にふさわしい社会システムや生活支援の仕組みを再構築していく必要があると感じており、県議会においても今後、こうした議論をより一層深めてまいります。

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

徳島県議会 自由民主党

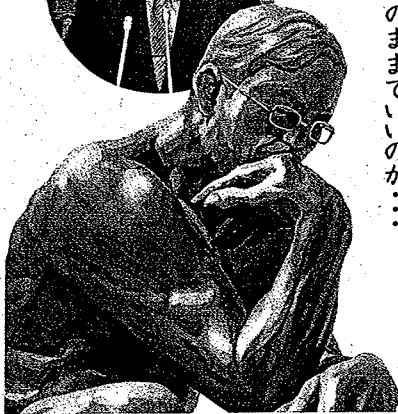
海部選挙区

にしざわ きろう
西沢貴朗

当選回数/7回



「自分一人だけの力」、「地域だけの力」で生き抜く「究極の防災対策」が必要です。



本当にこのままでいいのか...

迫りくる巨大災害! あなたは家族を! 地域を! 自らを! 守れますか?

今、巨大災害が日本のあらゆる所を襲う
危機の時代! 南海トラフで三連動地震が起こると

日本の経済がマヒし、被災地に応援・支援がこないことも考えられます!

世のため、人のため、すべてに感謝して政治を实践!!

貴朗のていげん 少ない予算で、一日も早くやる、具体策

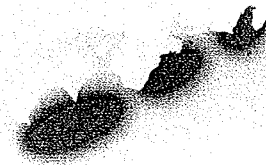
沿岸部と中山間部に分けて、水、食料、住居、トイレ、電気などの対策が必要です。特に津波の被害が少ないと想定される中山間部は、地域が壊滅しないための重要な役割があります。また、被災時には手に入りにくい物の確保策も重要です。

■沿岸部の対策について

- 水 上水道の水源地が津波にやられないための工夫を凝らしたり、他へ移すことも考える。
- 漁業 不要の漁船や漁網などを積極的に活用。
- 住居 地元木材による仮設住宅を最大限利用。
- トイレ 浄化槽を積極的に活用。
- 電気 太陽光発電を積極的に利用。

■中山間部の対策について

- 農業 防災対策としての農業のあり方の模索。
- 水 鉄管井戸(鉄パイプを打ち込む井戸)を設置。
- 住居 しっかりした住宅の耐震化。



徳島県議会
自由民主党

料金別納
郵便

配達地域指定

板野郡に
お住いの皆さまへ

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組めます!

徳島県議会
自由民主党

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

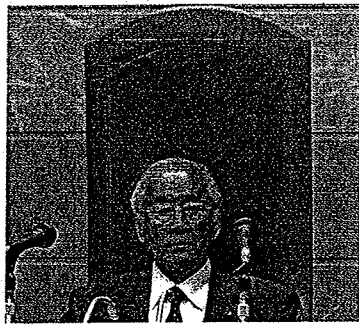
県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

徳島県議会 自由民主党

板野選挙区

さみなみ ゆきよし
木南征美

当選回数 / 5回



徳島県議会議員の木南征美(さみなみ ゆきよし)です。

まもなく平成の世が終わり新しい元号になります。昭和の時代に人生の多くを過ごした私には、昭和がだんだん遠くなりつつあるなあと感じております。昔はよかったなどということは申しません。今の社会がずっと成熟していると思っています。しかし、地方は以前のほうが元気であったように思います。かつて経験したことのない人口減少時代を迎えました。

私は、地方創生、人口が減っても幸せに暮らせる社会の構築のため、議員活動を行って参りました。

県議会における私の質問について、ご報告いたします。

■平成30年6月徳島県議会定例会(代表質問)

「流域水管理計画」の早期策定と水管理の積極的な推進を

- 問：治水はもとより、利水も含めた水の管理を戦略的に進めることが、本県の発展には欠かせない。今後策定される流域水管理計画では、どのような流域の将来像を描いていくのか。
- 答：川の脅威と恵みに通じた本県ならではの施策を盛り込み、洪水被害との決別や安定的な水の恵みの享受など、夢と希望が膨らむ社会を描いていく。
- 問：旧優生保護法下の優生手術については、残っている資料が少なく、実態解明が時間の経過とともに困難になる。今後、どのように取り組んでいくのか。
- 答：施設への聞き取り調査や相談窓口の周知を行うとともに、今後の対応策や方針が早期に示されるよう国に要望する。手術を受けられた御本人や御家族の気持ちに寄り添い対応していく。
- 問：例えば人口の急激な減少を抑えられたとしても、人口減少や少子高齢化は避けられないのが現実。人口減少下においても、県民が安心して豊かに暮らせる地域づくりを進めるべき。
- 答：アクティブシニアや外国人材など、幅広い人材確保による地域力の維持強化や、IoT、AI等を活用した、持続可能な地域づくりに向け取り組んでいく。

■平成28年6月徳島県議会定例会(代表質問)

本県の消費者行政の強みを県民や全国に発信を

- 問：消費者庁移転の実現は、徳島から全国の地方創生につながる第一歩と確信する。移転の可否を検証するこの時期に、本県の消費者行政の強みを県民や全国に発信すべき。
- 答：エシカル消費を普及させる国主催のシンポジウム、エシカル・ラボin徳島2016が7月に開催される。本県の先進的取り組みを全国にしっかり発信する。
- 問：わが国の農林水産物の輸出金額が3年連続で過去最高額を更新するなど、まさに今、日本食に対する追い風が吹いている。輸出を加速化させるため、今年度どのような視点で進めるのか。
- 答：販売ルート強化やマーケット開拓として、スイーツへの柑橘需要の開拓、ガルフード2017へのハラール商品初出展など、生産者等と一丸となり取り組む。
- 問：スポーツ施設の整備は、県民のスポーツに対する意欲を高め、競技力向上につながる。さらに、全国大会の誘致等、地域の活性化を図るためにも、スポーツ施設の整備に取り組んでいくべき。
- 答：三大国際スポーツ大会の開催を控えたこの好機に、未来に継承できる本県スポーツ施設の在り方を検討するプロジェクトチームを早急に立ち上げる。

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます!

徳島県議会 自由民主党

板野選挙区

副幹事長

しんがい ひろし

眞貝浩司

当選回数 / 1回



徳島県議会議員の眞貝浩司(しんがい ひろし)です。

皆様のお力により、徳島県議会に送り出していただいてから、約3年半が経ちました。

この間、文教厚生委員会の委員長を務めさせていただいたのに加えて、昨年度と今年度は、県土整備委員会に所属し、道路をはじめとする基盤整備、災害対応、工業用水道整備など、多くのことを学び経験させていただき、より幅広い視野で物事を見ることができるようになった、と感じています。

地方創生という言葉を毎日のように耳にしますが、今の地方は、人口減少の中でどのように地域の活力を生み出していくの

か、という厳しいテーマを突きつけられています。

私は、地方創生に特效薬はないと思っています。

政治に携わる者が、小異を捨てて結束を固め、知恵を寄せ集めながら、人口減少社会における地域づくりに取り組む必要があります。

私ども徳島県議会自由民主党は、県内すべての選挙区から選出された議員27名で構成されており、責任ある会派として、より一層、活動の充実強化を図り、県民の皆様の負託に応えていくことが求められています。

私の地元にも目を向けますと、私たちの板野郡は、豊かな平野・農地が広がり、そこに空港と

3つのインターチェンジという産業インフラ、さらには大型公園も整備されるなど、先人が大きな財産を築いてこられています。

そして、全県下的に人口減少が加速する中で、板野郡内では人口が増加する町もあるという特長を備えています。

こうした特長や多彩な地域資源を活かしながら、住民のみんなが参加し、みんなが主役となって、

- 子どもを安心して産み育てられる板野郡
- 若者が元気よく行動し交流できる板野郡
- 高齢者が生きがいを持って笑顔で暮らせる板野郡
- 地元産業が盛んで住民が潤う板野郡

を築いていくことが大切だと考えています。

私は、今後とも、地に足のついた議員活動を心がけ、皆さんとともに「板野郡に活力をもたらす取り組み」に、さらには先輩・同僚の議員とともに「徳島での暮らしに充実感を覚える施策」の展開に、全力を傾けてまいります。



徳島県議会
自由民主党

料金別納
郵便

配達地域指定

東みよし町に
お住いの皆さまへ

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組めます!

徳島県議会
自由民主党

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地



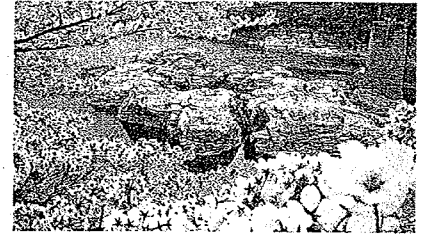
もとあき あさかわ
元木章生

三好第2選挙区
当選回数/3回

県民のために誠意を持って
議会活動に取り組みます！

これからの時代、私たちは、既存の枠にとらわれない発想で幅広い見地から県政を捉え、多様な県民ニーズに応えていく努力が強く求められています。

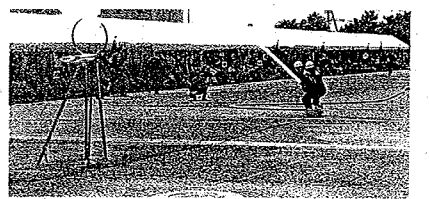
私は、こうした思いから県政の重要課題について提言や質問を積極的に行ってきました。



美濃田の淵



加茂の大クス



徳島県消防操法大会(H30.7.22)

■平成29年9月徳島県議会定例会の一般質問より

問：にし阿波における体験型教育旅行は、都市部の子供たちにとっては、人のぬくもりや自然のすばらしさなど、感動を与える体験として、高評価を得ている。また、受け入れ家庭では、交流を通じて感動を分かち合うことで、一つの生きがいづくりにもなっている。さらには、教育旅行をきっかけに、インバウンド(訪日外国人)の受け入れに発展すれば、県西部の活性化の観点からも効果があると考えている。今後、体験型教育旅行のさらなる拡大や発展に向け、どのように推進していくのか。

答：新たな担い手確保に向けて、モニターツアー(専門家や消費者などを招き、意見や感想を収集する旅行)によるお試し体験等による受け入れ家庭の拡大などに取り組む。また、年間を通した受け入れに向けて、日本で唯一の観光圏、食と農の景勝地、日本農業遺産のトリプル認定を強みに、にし阿波の食と農の魅力をアピールすることにより、旅行会社等への営業活動や情報発信を強化する。さらに、にし阿波訪日教育旅行推進協議会を立ち上げ、国ごとのニーズに応じた体験交流メニューの充実に取り組むことにより、インバウンドの受け入れ環境づくりにもつなげる。

問：地震や全国各地で発生している水害や土砂災害など、災害発生時において真っ先に現場で活動できるのは、消防団である。新たな消防防災の担い手として注目される女性や若者の消防団への加入促進など、消防団員確保とその技術の向上への取り組みが必要と考えている。消防団の充実強化に今後どのように取り組むのか。

答：消防女子の集いを開催し、女性団員の魅力発信や団員確保につなげるとともに、新たにドローンやオフロードバイクなどを活用した実践的な研修を実施し、情報収集を初めとする団員の技術力向上に取り組む。さらに、消防団と学生自主防災クラブや関係機関が、組織の枠を超え、避難所運営や救護等の合同訓練を実施し、若手団員の確保、啓発に取り組む。

問：グローバル社会に生きる子供たちにとって、国際共通語の英語は、これまで以上に重要な役割を果たしている。また、児童の吸収力が高いとされる小学校高学年ごろまでに生きた英語に触れる機会の拡充が必要とされている。こういった状況の中、英語教育の教科化に向け、今後どのように取り組むのか。

答：新たに県立総合教育センターに小学校英語担当指導主事を配置して体制を整備し、学校訪問などを通じて専門的な相談や指導改善の支援を行うとともに、各学校のリーダーを育成する研修を実施する。また、系統的、計画的に英語能力向上を図るため、聞く、話す、読む、書く、の4技能の学習目標を設定したCAN-DOリストを小学校にも導入し、小学5年から高校3年までの8年間にわたる指導のPDCAサイクル¹⁾を構築する。加えて、補助教材として、阿波藍、阿波人形浄瑠璃、阿波おどり、ベートーヴェン第九などを題材にしたデジタルコンテンツ²⁾を作成し、広く活用を図る。

1) PDCA サイクル/事業活動における管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)の4段階を繰り返すことにより、業務を継続的に改善する。

2) デジタルコンテンツ/デジタル形式で作成、保存された映像作品・データベース・音楽・アニメ・ビジュアル・キャラクターなど